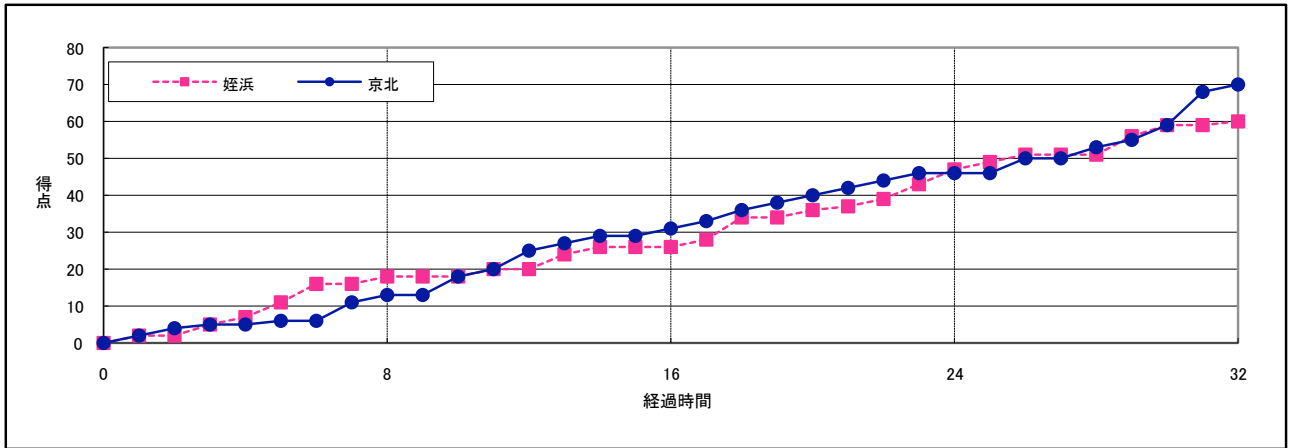


平成21年度全国中学校体育大会
第39回全国中学校バスケットボール大会



試合区分	2日目 男子 Cコート第5試合 決勝トーナメント2回戦			
日時	8月21日(金)		14:50 ~	
会場	鹿児島アリーナ			
結果	姪浜 ●	60	18 1st 13 8 2nd 18 21 3rd 15 13 4th 24 OT	70 ○ 京北 東京
審判	主審 岩木 太郎		副審 佐藤 良明	



【個人トータル表】

×=スターティングメンバー / =出場選手

空欄=出場なし

姪浜							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3 P	2 P	F T	反則
4	武内 夏来						
5	金田 智樹	×	7	0	2	3	2
6	大津 雄仁						
7	小川 翔吾	×	9	0	4	1	4
8	白浜 祐仁	/	2	0	1	0	0
9	平野 亮介						
10	金子 海里						
11	吉田 大志朗						
12	古賀 雷	×	23	5	4	0	1
13	山崎 拓						
14	松川 涼之輔						
15	浦田 庸介	×	5	1	1	0	2
16	山口 雄大						
17	一番ヶ瀬 溪	×	2	0	1	0	2
18	柿内 輝心	/	12	0	6	0	2
監	鶴我 隆博						
C	小島 和宏						
合計			60	6	19	4	13

京北							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3 P	2 P	F T	反則
4	伊藤 達哉	×	17	1	6	2	3
5	三上 健人	×	17	1	5	4	1
6	木林 毅	×	14	0	7	0	3
7	佐藤 太紀	×	9	3	0	0	3
8	大塚 達史						
9	宇田川 尚輝						
10	後藤 和						
11	高橋 涼						
12	西山 誠也						
13	川久保 駿	/	0	0	0	0	0
14	新川 敬大	×	13	0	6	1	0
15	安保 友貴						
16	斉藤 孝幸						
17	小林 耀						
18	岡田 大貴						
監	田代 直人						
C	田渡 優						
合計			70	5	24	7	10

3 P = 3ポイントシュート 2 P = 2ポイントシュート FT = フリースロー

第1P, ディフェンスは姪浜がオールコートマンツーマン、京北は1-1-3のゾーンでスタート。姪浜は京北のゾーンに対して素早いパス回しから果敢に3Pシュートを放つ。オフェンスリバウンドに果敢に飛び込み姪浜#5が連続でインサイドでの得点をあげる。京北は姪浜の厳しいディフェンスにミスを連発するが#5のバスケットカウントや#14のリバウンドシュートで何とか得点を重ねていく。姪浜も#15や#18ガード陣が高確率でシュート沈めていく。姪浜18-13京北で第1P終了。

第2P, 流れが京北に傾く。京北#5が3Pシュートとリバウンドシュートを決め姪浜18-18京北の同点にすると、京北は#4のカットインからのレイアップシュート、#7の3Pシュートで一気に得点をあげ、残り4分で姪浜20-25京北と逆転を果たす。しかし、姪浜も#18にボールを集めると、#18が正確なミドルシュートをことごとく沈めていく。一進一退の攻防のまま姪浜26-31京北で前半終了。

第3P, 前半同様、互いに譲らぬ攻防が続く。京北#4がカットインからのバスケットカウントを決めれば、姪浜#12が連続で3Pシュートを決め、5点差以内の攻防が続いたまま時間が経過していき、残り2分、京北#6がインサイドのシュートを決め、姪浜39-46京北と京北7点のリード。しかし、ここから姪浜は#18の3連続ミドルシュートと#7のリバウンドシュートで一気に8連続得点をあげ、姪浜47-46京北と一気に逆転を果たし、第3P終了。

第4P, 開始早々、姪浜は#12のバスフェイクからのジャンプシュートで得点をあげる。一方の京北も#6のジャンプシュート、#4がカットインからのレイアップで姪浜49-50京北と再逆転を果たす。ここから互いに意地のぶつかり合いとなる。姪浜が#7のカットインや#12の3Pシュートで得点を上げれば、京北も#14のリバウンドシュート、#6のジャンプシュートですかさず入れ返す。緊迫した展開のまま残り2分の時点で姪浜59-59京北の同点。勝負を決めたのは京北#7の3Pシュート。ディフェンスからの速攻で連続して3Pシュートを沈め、姪浜59-65京北と勝ち越しを果たす。さらに京北は#14がリバウンドからのバスケットカウントを沈めて勝負を決める。このまま、粘る姪浜を振り切り、姪浜60-70京北で京北が接戦を制した。